



1年生の教室には6年生からのメッセージ。6年生は、たくさんものを残して行ってくれました。

# みなさんを応援し続けます!!

## ～卒業おめでとございます～

3月19日、33名の第112回目の卒業生が卒業していきました。

たくさんのご支援をいただき、おかげさまで子ども達は、明るく元気な子に成長しました。また、人の気持ちの分かるやさしい子に成長したと思います。

6年生になったばかりの子ども達から、初め、よく聞かれたのは、「**今できることは何か**」という言葉でした。コロナ禍にあって、6年生になってもいつも通り活動できない4月、子ども達は、1年生のためにメッセージを書き、掃除のしかたを少人数で教えに行くことから始めました。そのうち、マラソン大会はできなくても取り組みをしたいと活動をはじめ、いつしか、「**今できることは何か**」という言葉は「**まだできることはないか**」にかわっていきました。

運動会の日朝、廊下に貼られた「めあてカード」には「**本番では精一杯声を出すしかありません。がんばるしかありません。**」と赤ペンで書き足してあるのを見つけ、とことんがんばりぬいた人の言葉に胸を打たれたことを覚えています。

学習発表会の劇「きゅうぞう様」でも演技を極めようとする姿にたくさんの人が感動をもらいました。そして、その一つ一つすべてを下級生が見ていました。

さらに、子ども達から聞かれるようになった言葉がもう一つ。それは、「**よりよい学校にしましょう。**」という言葉。子ども達が歩んできた道には、まさに、よりよい学校にしようがんばってきたあしあとが残っており、その気持ちは全校に広がっています。

卒業していく子ども達には、これからも、「人を大切にできる気持ち」を持ち続けてほしいと思います。子ども達には、人のよいところを見つけ、受け入れるやさしさがあります。苦手なことが多そうな人が実は友達思いだったり、物静かにしているけれど働き者だったりすることを知っています。だれもが持っているはずの、でも、見逃されがちなのほどの小さなよいところにも気づく人でいてほしいのです。それが、どの人をも大切にすることであり、自分自身の人間としての豊かさにもなるからです。

子ども達は、凛々しい姿で、在校生や先生方、おうちや地域の方々へ送られて卒業して行きました。私達は、このあとも、おうちの方や地域の方といっしょに、子ども達を見守らせていただきたいと思います。子ども達をいつまでも応援し続けたいと思っています。



卒業式の日朝、黒板には式に向かう決意が、後ろの壁には、たくさんの書き込みがされた式歌の歌詞がありました。

## 地域の皆様へ

教育委員会の教育長さんとPTA会長さんにご臨席をいただきました。これまで、子ども達を見守っていただき、また、学校への支援もいただきました。本当にありがとうございました。そして、当日お招きは出来ませんでしたが、子ども達を応援くださいました全ての方々にお礼申し上げます。ありがとうございました。

# 大変お世話になりました ~離任式~

離任式で6名の職員が子ども達から送り出されました。保護者、地域の方々にご支援いただき、勤めることができました。ありがとうございました。

鈴木 有希 副校長 (3年勤務)	宮古市立花輪小学校へ(校長昇任)
小渡 修子 4-1担任(2年勤務)	滝沢市立一本木小学校へ
岩脇 由佳 1年担任(3年勤務)	洋野町立角浜小学校へ
関 あやの 養護教諭(4年勤務)	久慈市立久慈湊小学校へ
笠月 佳子 用務員(3年勤務)	洋野町立種市中学校へ
梅内 隆房 はまなす3組担任(4年勤務)	退職

## たくさんのご支援 ありがとうございました

卒業式を終え、新年度がそこまで近づいています。この1年間、「子ども達に力を」と職員一同がんばってきたつもりではありますが、まだまだ十分にできてはいるとは言えないとも思っております。さらに改善・向上させていく決意であります。

今年度一年を終えることができるのは、保護者の方々から絶大なご理解とご協力をいただいていたからと考えております。また、地域の方々からもたくさんのご支援をいただいております。

感謝申し上げますとともに、

引き続きご協力・ご支援くださいますようお願いいたします。

春休みに入っていますが、事故やけががなく、子ども達が離任式に集まってくれました。

コロナ感染防止に加え、子ども達が事件や事故に巻き込まれることがないように、外出については特に声かけをお願いします。

新年度も、子ども達が元気に揃い、また新たな成長に向かうことができるよう、よろしくお願いいたします。

<新学期>

始業式は

4月6日(火)

入学式は

4月7日(水)